

ルーシー・リー展と自然植物園散策

2026.7.19

参加者 10 名



東京都庭園美術館（旧浅香宮邸）で開かれているルーシー・リー展へ。

ルーシー・リーは 1902 年ウィーンのユダヤ系の裕福な家庭の娘として生まれました。

美術学校で陶芸を学び、33 歳、ブリュッセル万国博覧会で金メダルをとり、

35 歳、パリ万国博覧会で銀メダルを受賞しました。第二次世界大戦中は、陶製のボタンを作り、カラフルな色の美しいボタンは三宅一生の服にも使われました

戦後はハンス・コパーと共に制作を始め、独創的な形やたくさんの美しい色を生み出し、繊細な模様が特徴の上品な作品を作りました。

ルーシー・リーは白いエプロン、白い服、白いスニーカーで、作品をたくさん作り、

メトロポリタン美術館で 92 歳で展覧会をしたのが最後で、93 歳に脳梗塞で他界しました。

旧朝香宮邸の玄関の扉は、アールデコのルネ・ラリックの作品で、

こんなに大きなガラス工芸は珍しく貴重です。

アールデコは世界中で大流行したモダンデザイン用式で、

ルーシー・リーの活躍した時と重なり、

素晴らしい展示会場でした。





- 1: 露西・リー展「ルーシー・リー」(1911年頃)
 Photograph by Ronald Pinner Service, © Estate of Lucie Rie. From the collection of the Crafts Study Centre, University for the Creative Arts, UK, B1070015.
- 2: 『ボタニカル』(1940-45年頃) 公益財団法人現代文化財団バタニカルミュージアム蔵
- 3: 『アトミック・パズル』(1945年頃) 東京コンプレックス (国立工芸館蔵) 撮影: 山形 隆
- 4: 『ルーシー・パズル』(1945年頃) 国立工芸館蔵 撮影: 山形 隆
- 5: 『石版印刷の文庫』(1944年頃) 東京コンプレックス (国立工芸館蔵) 撮影: 野村智也
- 6: 『マヤン・パズル』(1970年頃) 東京コンプレックス (国立工芸館蔵) 撮影: 山形 隆
- 7: 『露西・リー展』(1945年頃) 東京コンプレックス (国立工芸館蔵) 撮影: 山形 隆
- 8: 『露西』(1924年頃) 個人蔵 撮影: 野村智也



Lucie Rie: Elegant Vessels Fusing East and West
 ルーシー・リー展—東西をつなぐ優美のうつわ—

Lucie Rie

2026. 7. 4 Sat. — 9. 13 Sun.

開館時間 | 10:00-18:00 (入館は開館の30分前まで)
 休館日 | 毎週月曜日 *ただし7月20日(月)は開館、7月21日(火)は休館
 Hours | 10:00-18:00 (Last admission at 5:30 PM)
 Closed Mondays (except July 20, July 21)

主催 | 公益財団法人東京芸術文化財団 東京芸術館本館、東京市役所
 企画協力 | 国立工芸館 現代館(主) 東京コンプレックス、東京都立近代美術館
 協賛 | DNT 大日本印刷
 年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブローニング Bloomberg Asia Chief & Agents
 スポンサー | 『露西展』1945年頃 東京コンプレックス (国立工芸館蔵) 撮影: 山形 隆

日時指定
 予約制
 Ticket Entry System

東京都
 庭園美術館
 TOKYO GARDEN MUSEUM







陶製のボタン



次の二つの作品はルーシー・リーと親交のあったバーナード・リーチの作品です。



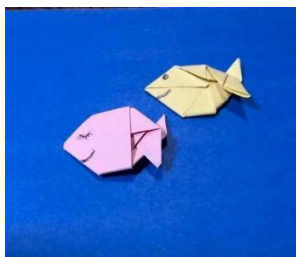


この背の高い青年は3か月間日本滞在予定のブルガリアの青年Cくん、29歳。

偶然街でMIAメンバーの一人が親切にしてくれたのがきっかけでお友達になりました



カフェ・ラ・ポエムで



Cくんからの自作のプレゼント



自然植物園にて

7月26日（日）Eテレ午前9時 日曜日美術館「ルーシー・リー展」放映予定